高齢者用肺炎球菌（２３価肺炎球菌）ワクチン説明書

　接種にあたっては、この説明書をお読みになり、予防接種による効果や副反応などよく理解し、接種するかどうか検討してください。
　また、接種する際は、安全のため、必ず『かかりつけの医療機関』で接種するよう、お願いいたします。

○ワクチンについて

　肺炎球菌による肺炎は、肺炎の1/4から1/3を占めると考えられています。また、年齢階級別に見ると肺炎による死亡率は、特に75歳以上で男女ともに急激な増加がみられます。
　このワクチンは肺炎球菌による肺炎の重症化を防ぐ効果があります。
※　すべての肺炎に対して、効果があるものではありません。

○接種が不適当な方（予防接種を受けることが適当ではない方）

①　明らかに発熱している方（通常は37.5℃を超える場合）
②　重篤な急性疾患にかかっている方
③　このワクチンの成分によってアナフィラキシ―様反応（＊通常接種後30分以内に出現する呼吸困難や全身性じんましんなどを伴う重いアレルギー反応のこと）をおこしたことが明らかな方
④　上記に挙げる方のほか、予防接種を行う事が不適当な状態にある方

○接種要注意者（接種の判断を行うに際し、注意を要する方）

　健康状態及び体質を勘案し、次のいずれかに該当すると認められる場合には、注意して接種しなければいけません。
①　心臓血管系疾患、腎臓疾患、肝臓疾患、血液疾患、発育障害などの基礎疾患のある方
②　予防接種で接種後2日以内に発熱のみられた方及び全身性発しんなどのアレルギーを疑う症状を発症したことがある方
③　過去にけいれん（ひきつけ）の既往がある方
④　過去に免疫不全の診断がなされている方及び近親者に先天性免疫不全症の方がいる方
⑤　このワクチンの成分に対してアレルギーをおこすおそれのある方
⑥　過去に23価肺炎球菌ワクチン（高齢者肺炎球菌ワクチン）を接種されたことがある方

★過去に一度でも２３価肺炎球菌ワクチンを接種されたことがある方は、費用助成対象ではありません。

○ワクチン接種後の注意

①　接種当日は激しい運動はさけてください（その他はいつも通りの生活で結構です。入浴は問題ありませんが、接種部位をこすることはやめましょう）。
②　接種後に発熱したり、接種した部位が腫れたり、赤くなったりすることがありますが、一般にその症状は軽く、通常数日中に消失します。
③　接種後自らの健康管理に注意し、もし、高熱や体調の変化、その他局所の異常反応に気づいた場合は、直ちに医師の診療をうけてください。

○新型コロナワクチンとの接種間隔

　新型コロナワクチンと高齢者用肺炎球菌ワクチンは、2週間以上の接種間隔が必要です。